

待ちに待った課題研究指導開催

——2 学年発展探究第 1 回課題研究指導——

◇日 時 7 月 3 日(金)5・6 時間目

◇場 所 本校各教室・実験室・図書館

新型コロナウイルス感染拡大予防のために延期されていた発展探究課題研究指導が、富山大学から 12 人の先生方をお招きして、7 月 3 日に行われた。探究科学科 2 年生 81 名が、数学、物理、化学、生物、英語、国語、地歴公民の 7 つのゼミに分かれ、各々の「探究してみたいこと」を精選して決めた研究テーマや方針を富山大学の先生方の前で発表し、先生方から助言をうけて、今後の探究活動をより良いものにするための時間である。

「どんな先生方がいらっしゃるのだろうか?」「コテンパンにやられないか?」研究者との知識の差は歴然としているので、生徒たちは不安を抱きつつも、それぞれのゼミで今までの調査・実験の報告や今後の予定、新たに出てきた課題など現在の状況をなるべく丁寧に説明していた。

化学ゼミの「日焼け止め」に関する研究班では、「最強の日焼け止めを作る」という目的で、抗酸化作用や紫外線を吸収、カットする作用のある物質の構造を調べ、持続性や効力、人体への負荷などの特徴別に評価を試みていたが、そもそも構造式が分からないなど様々な問題が出ていた。今回の指導では、化学をまだ完全に履修していない生徒たちは、化学物質の性質や合成を扱う有機化学を専門とする先生から多くの助言を頂いただけでなく、化学に関する色々なことを教えていただき、今までの停滞が解消された。同じゼミの生徒からも実験の穴や仮説の問題点などを指摘され、自分達の課題を再検討し、改善につなげるきっかけになった。

また英語ゼミでは、z o o mを使った遠隔指導も行われた。音声途切れるなどのトラブルもあったが、有意義な指導を受けることができた。

『銀の弾丸(英:silver bullet)』という言葉には行き詰まりや苦悩に対する解決策、特効薬といった意味がある。この先も課題研究を進めていくと新たな障壁が現れるだろうが、その時は「自分で考え、計画を立て、勇気をもって実行に移す」を旨に全力でアタックしたい。壁が高すぎる時は、また先生方に銀の弾丸を打ち込んでもらい、ゆっくりであっても確実に前に進んでいきたいと思う。

